

東証一部（証券コード 6848）

アナリスト・機関投資家向け 会社説明資料

東亜ディーケーケー株式会社

2020年7月6日

代表取締役社長 高橋俊夫

- 1. 会社概要**
- 2. 2019年度実績**
- 3. 2020年度の取り組み**

注記がない限り、本資料に記載された財務数値及び業績予想は、原則として連結ベースで記載しております。本資料の金額は単位未満切捨で表示しております。これにより、合計が合わない場合があります。比率は小数点第1位未満四捨五入で表示しております。

1. 会社概要

2. 2019年度実績

3. 2020年度の取り組み

注記がない限り、本資料に記載された財務数値及び業績予想は、原則として連結ベースで記載しております。本資料の金額は単位未満切捨で表示しております。これにより、合計が合わない場合があります。比率は小数点第1位未満四捨五入で表示しております。

経営理念

『誠実・創造・挑戦』をモットーに地球環境保全と豊かで人にやさしい社会環境の実現に貢献します。

概要

代表取締役社長： 高橋 俊夫

所在地： 東京都新宿区高田馬場一丁目

設立： 1944年9月

資本金： 18億4,248万1千円

従業員数： 連結658名 単独381名

事業所：
 ▶狭山市：狭山テクニカルセンター
 (開発研究センター、医療関連機器生産棟)
 ▶東大和市：東京エンジニアリングセンター

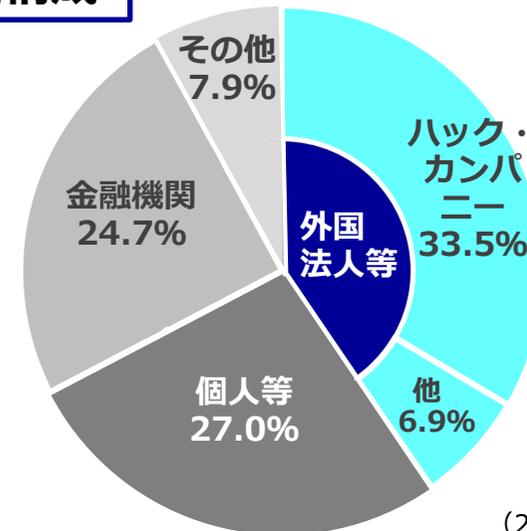
営業拠点： 国内11か所

連結子会社： 国内4社

略歴

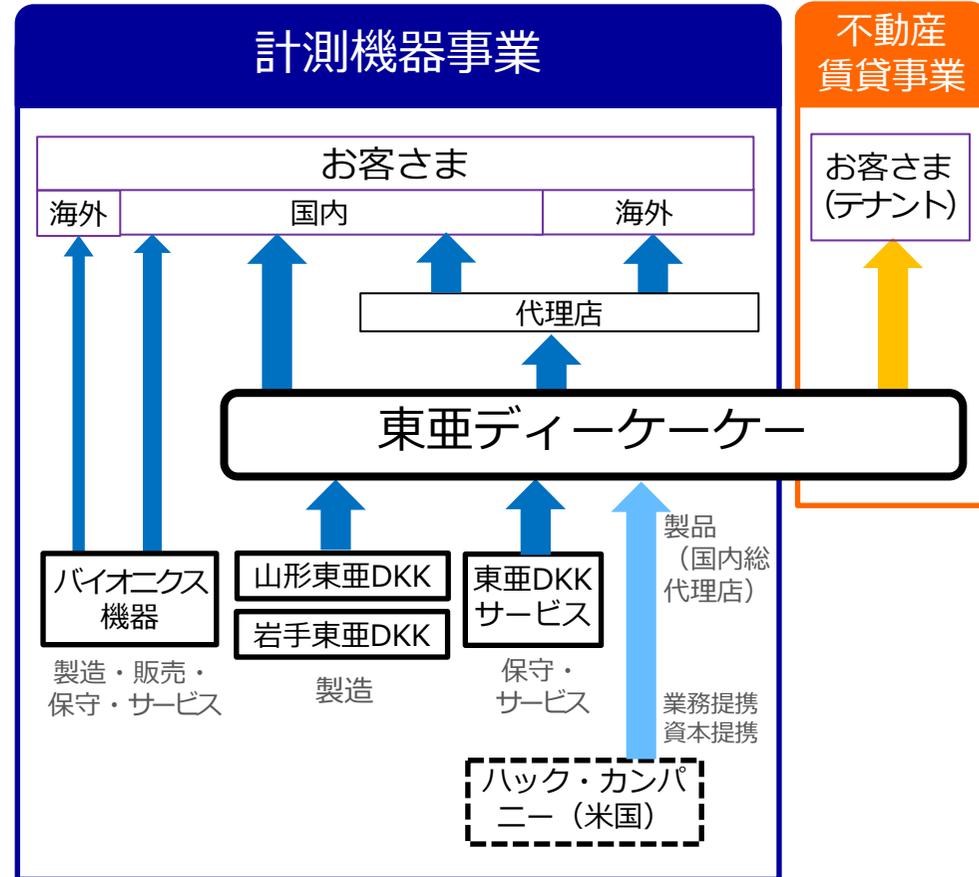
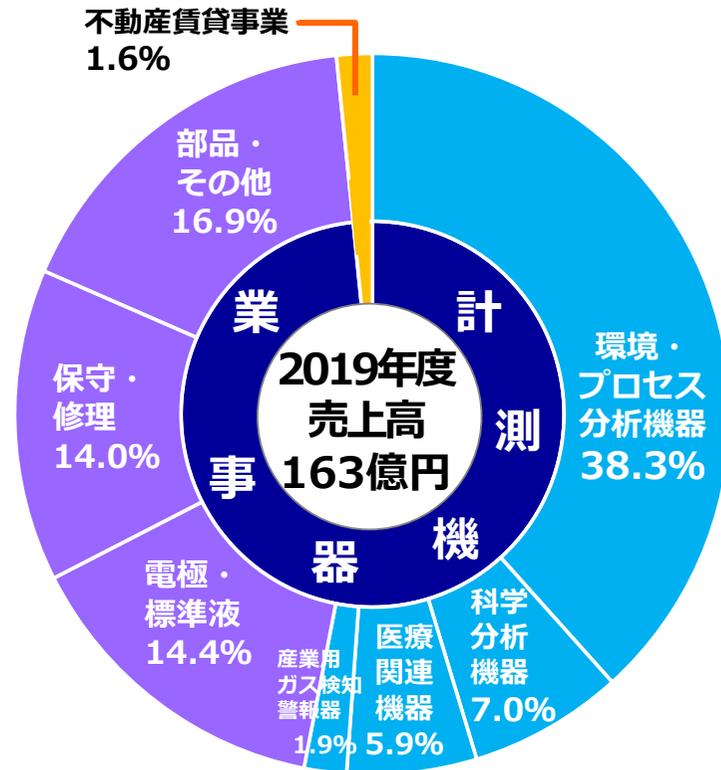
- 2000年 東亜電波工業と電気化学計器が合併し、東亜ディーケーケー誕生
- 2005年 米国ハック・カンパニー (HACH) と業務・資本提携
- 2013年 東証第一部指定銘柄
- 2014年 創立70周年

株主構成



(2020年3月末現在)

売上構成と事業系統



当社の強み

- 創立以来のpH計、電気伝導率計などの保有技術は幅広い用途に対応
- 公的機関はじめ、幅広い業種の企業とお取引
- 開発・製造・販売からアフターサービス（保守・修理）までの一貫体制

水	大気	医療	ガス
<p>環境・プロセス分析機器</p> <p>水道水用水質自動測定装置</p> <p>pH計変換器</p> <p>電気伝導率計</p> <p>油膜検知器</p> <p>全窒素全りん計</p>	<p>PM2.5測定装置 国内シェアNO.1</p> <p>大気SO₂SPM測定装置</p>	<p>医療関連機器</p> <p>透析用薬剤溶解装置</p> <p>NEW</p> <p>エンドトキシン計</p>	<p>産業用ガス検知警報器</p> <p>ケミルミアルシン計</p>
<p>科学分析機器</p> <p>ラボ用水質計</p> <p>ポータブル用水質計</p>			

1. 会社概要

2. 2019年度実績

3. 2020年度の取り組み

注記がない限り、本資料に記載された財務数値及び業績予想は、原則として連結ベースで記載しております。本資料の金額は単位未満切捨で表示しております。これにより、合計が合わない場合があります。比率は小数点第1位未満四捨五入で表示しております。

- **売上高**：国内においては環境・プロセス分析機器やアフタービジネスを中心に売上を伸ばしたものの、アジアにおける前期の大型案件の反動等により海外売上が減少し、全体として減収
- **利益**：売上高の減少により、営業利益・経常利益は減少するも当期純利益は5期連続で最高益を記録

👉 単月黒字化 **127か月**連続記録更新中（2009年9月から10年7か月）

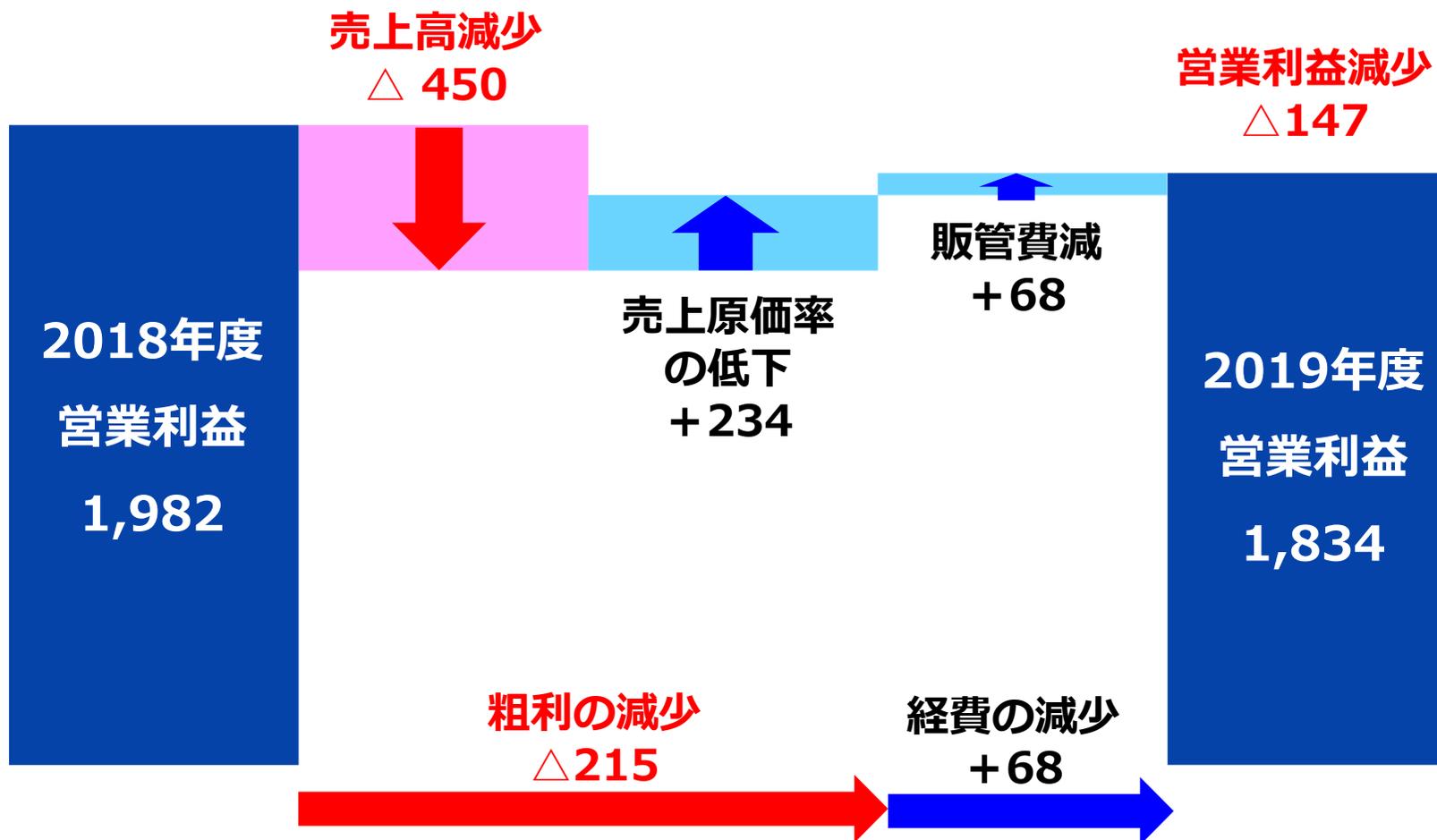
（単位:百万円）

	2018年度 実績	2019年度 実績	前期比増減	
			金額	率
売上高	17,548	16,349	△1,198	△6.8%
営業利益 売上高比	1,982 11.3%	1,834 11.2%	△147	△7.5%
経常利益 売上高比	2,046 11.7%	1,918 11.7%	△127	△6.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,322	1,369	46	+3.5%

営業利益増減分析（前期比）



(単位:百万円)

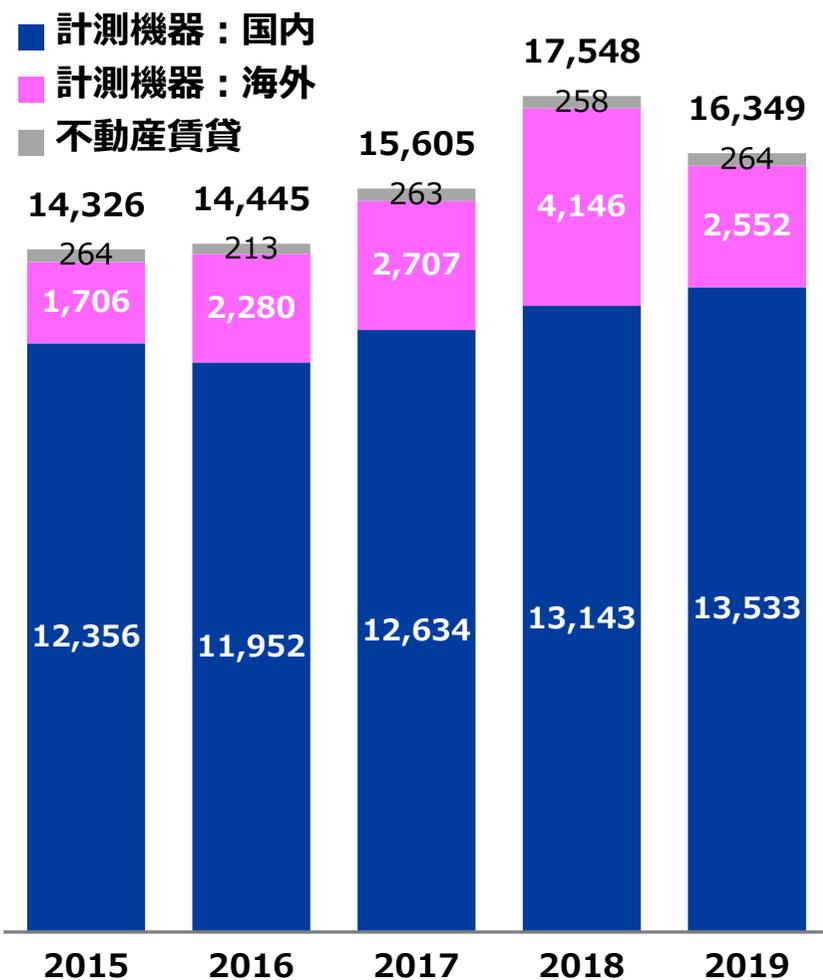


国別売上高推移

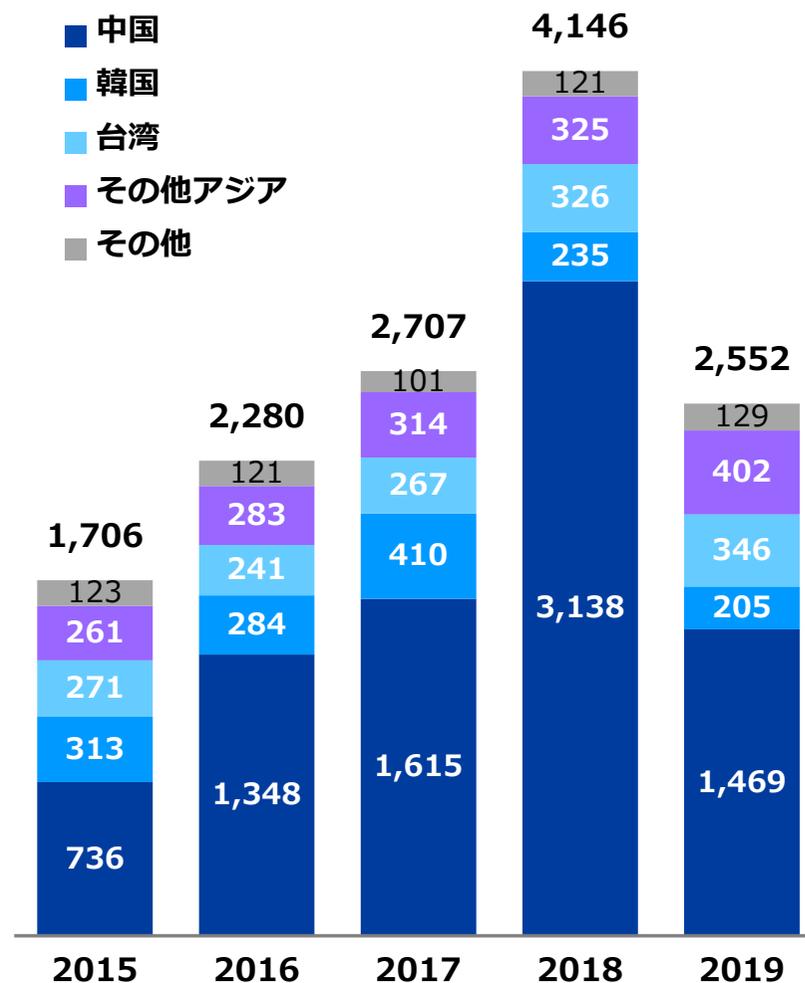


(単位:百万円)

国内外の売上高



海外の国別売上高

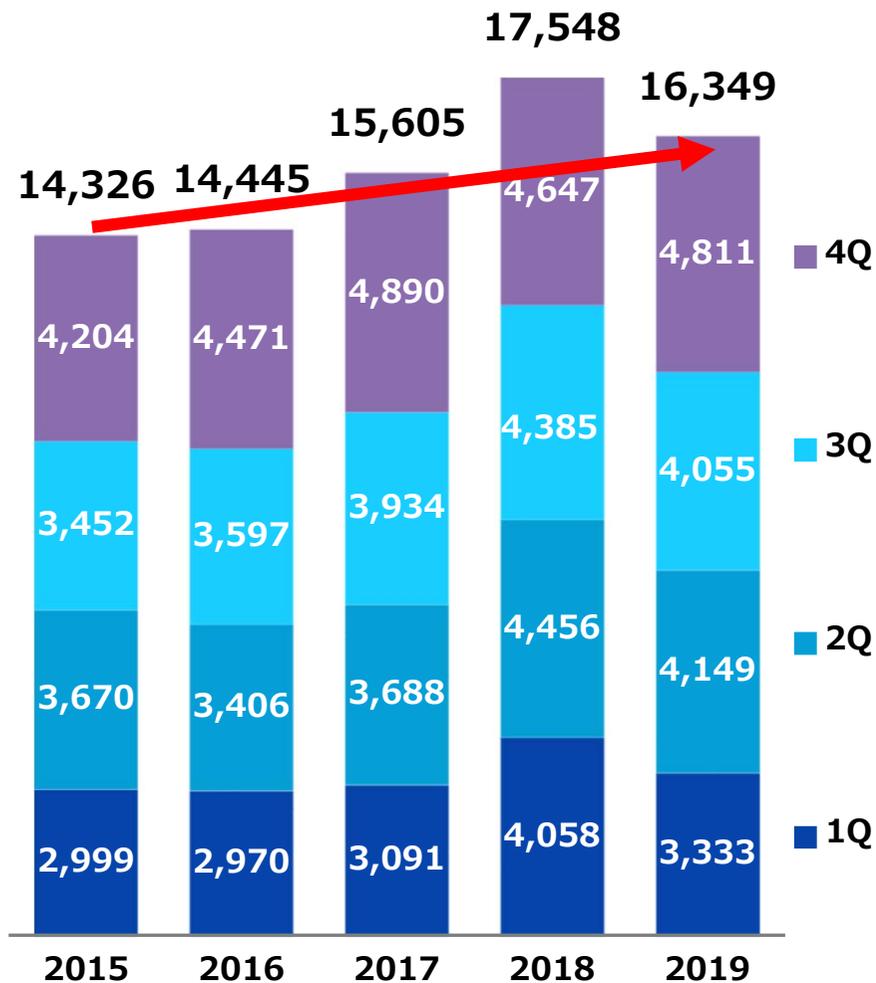


売上高・営業利益 四半期推移

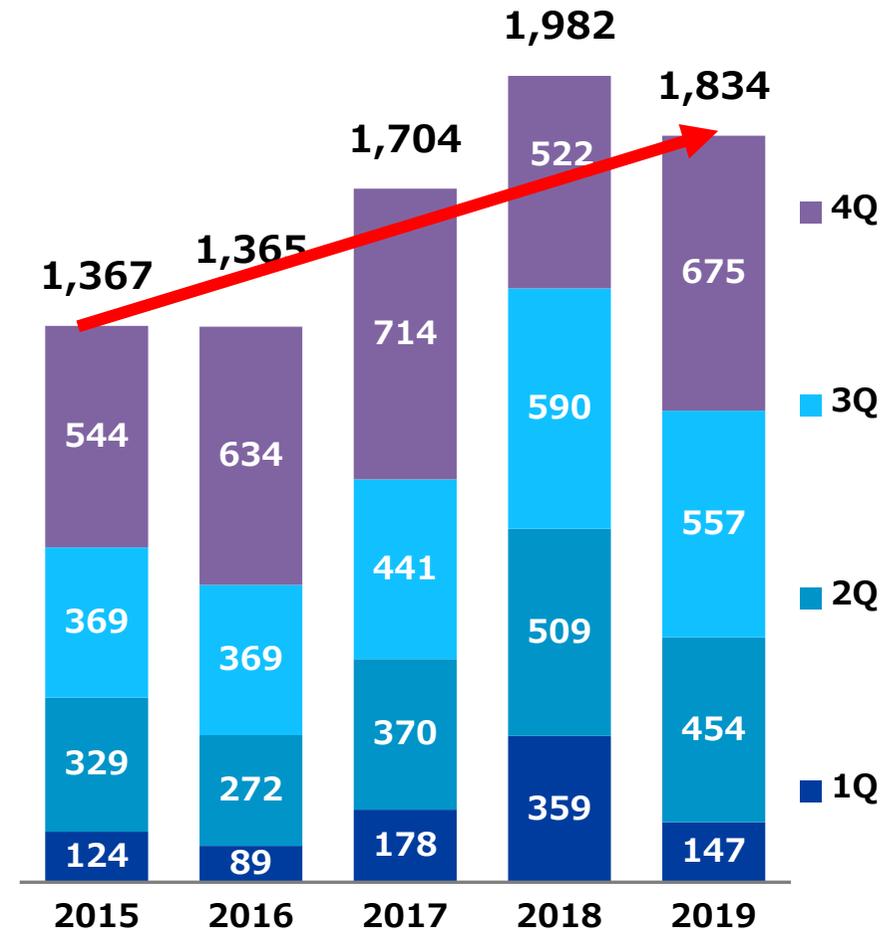


(単位:百万円)

売上高



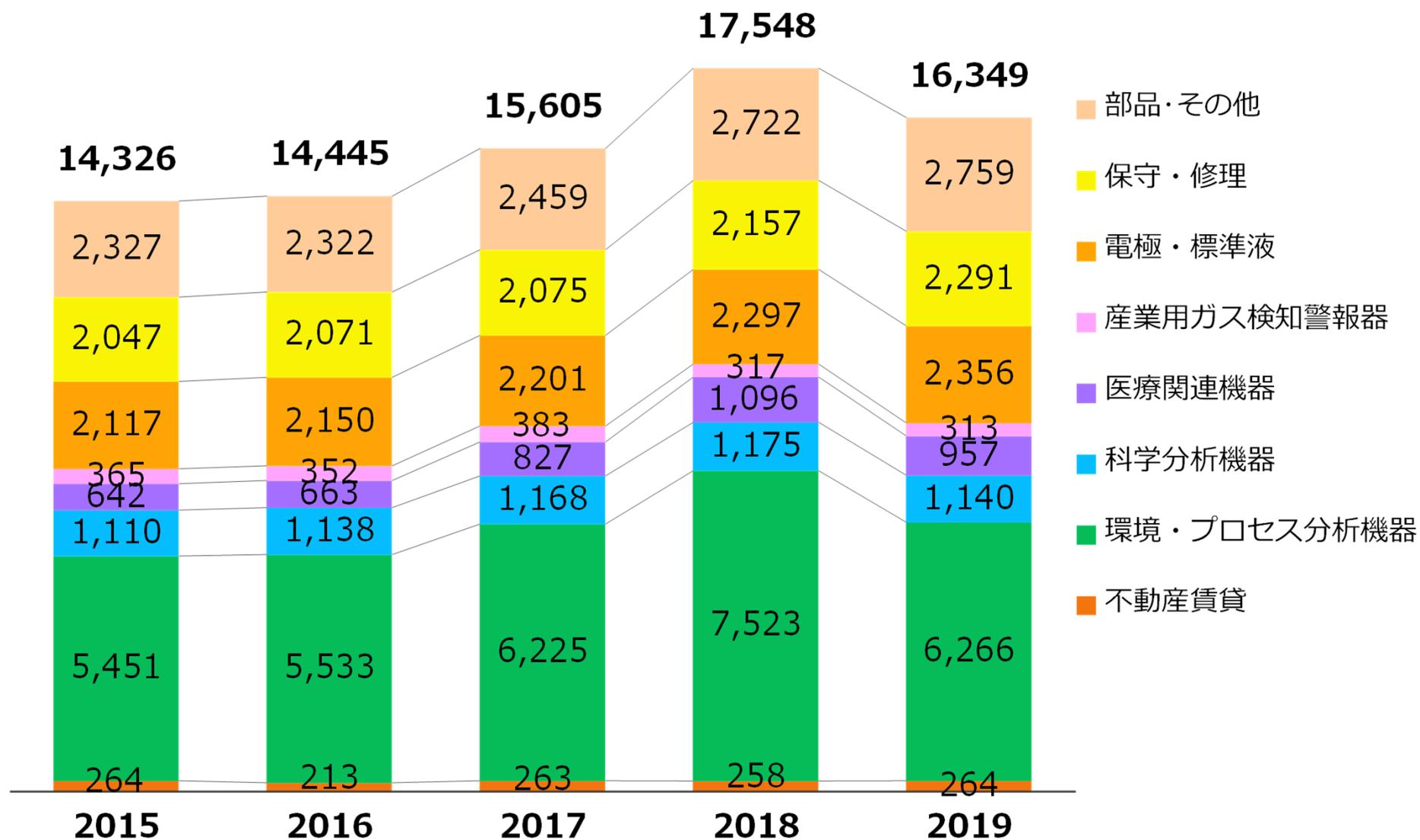
営業利益



分野別売上高構成推移

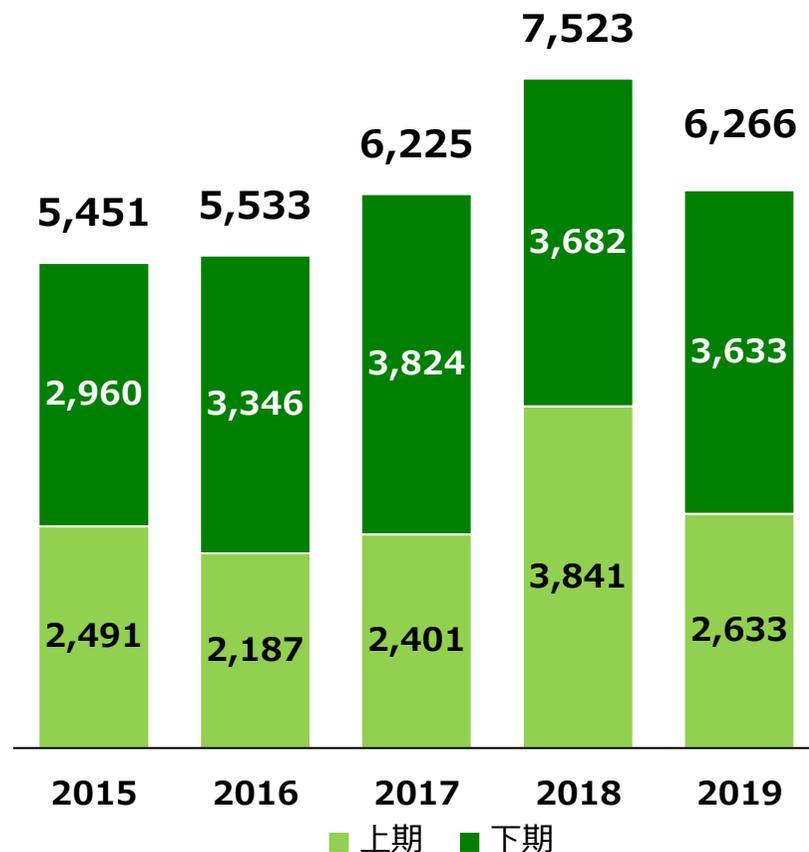


(単位：百万円)



環境・プロセス分析機器売上高

(単位:百万円)



■ 前期比

(2018年度 vs 2019年度)

▲ 16.7%



水

- 国内：主力の基本プロセス計測器をはじめ、環境大気測定装置・上下水道用分析計など主要製品の販売好調
- 海外：前期の大型案件の反動で環境用水質分析計が大幅減



大気

- 国内：消費税増税前の入札が増え売上は増加
- ☞ VOC測定装置の中国国家認証試験中
- ☞ 引き続き国内の更新需要の獲得と、中国・韓国・インドで受注獲得に注力

科学分析機器売上高 (単位:百万円)



■ 前期比 ▲ 3.0%
(2018年度 vs 2019年度)

- 新製品を投入するも、新型コロナウイルスの影響で伸び悩む

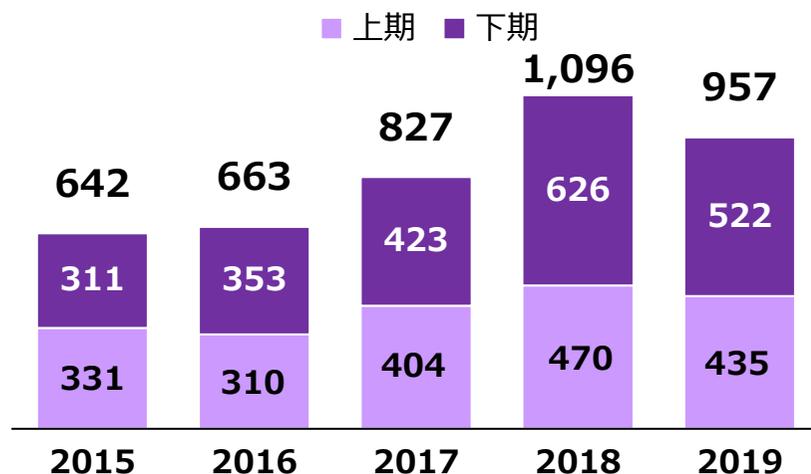


新型イオンクロマトグラフ
ICA-7000型



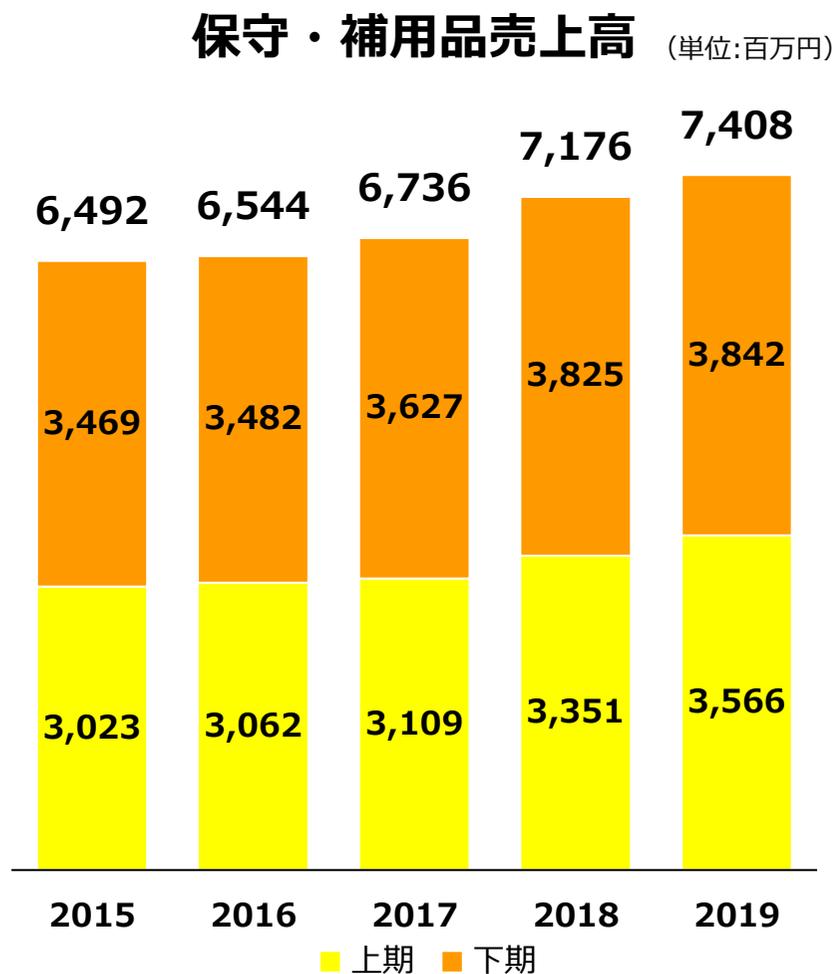
ポータブル水質計
P40シリーズ

医療関連機器売上高 (単位:百万円)



■ 前期比 ▲ 12.7%
(2018年度 vs 2019年度)

- 消費税増税の影響等により減収



■ 電極・標準液

前期比 +2.6%
(2018年度 vs 2019年度)

■ 保守・修理

前期比 +6.2%
(2018年度 vs 2019年度)

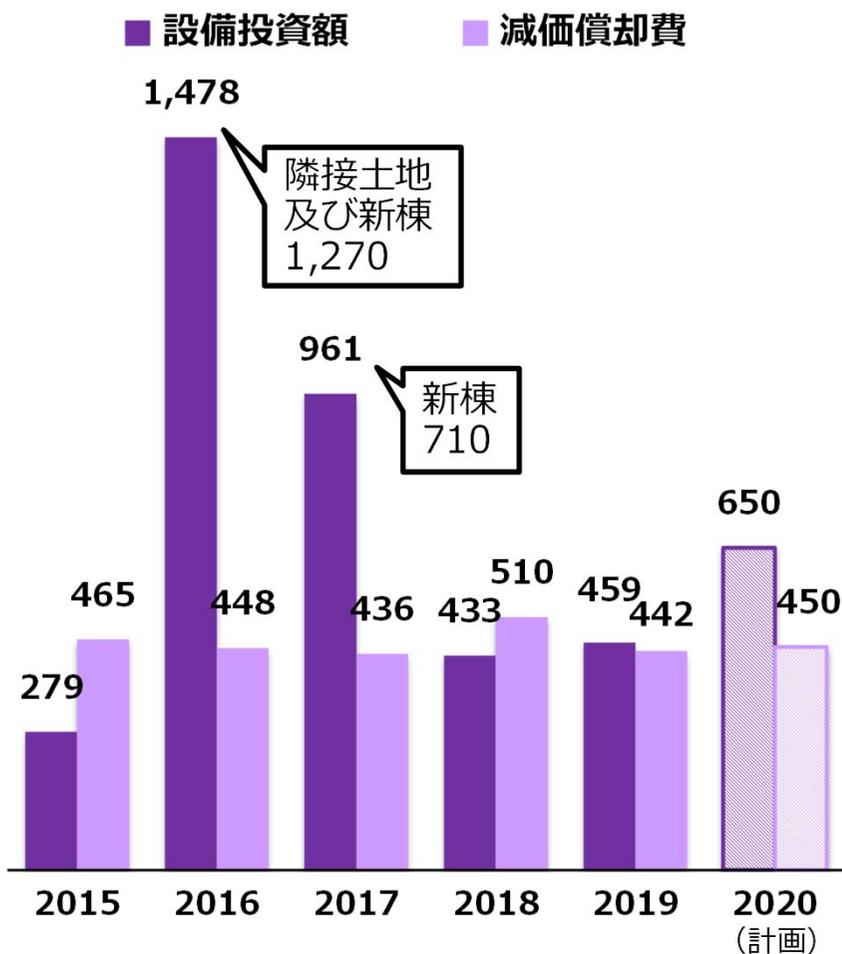
■ 部品・その他

前期比 +1.4%
(2018年度 vs 2019年度)

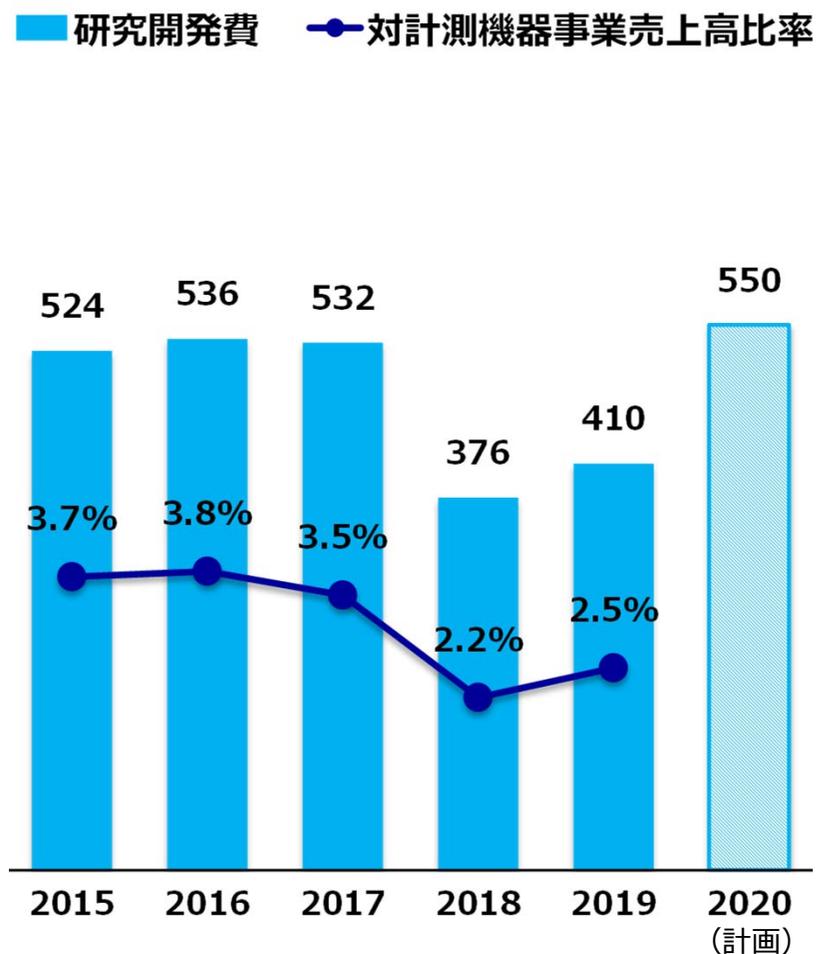
- 機器販売の増加に伴い、全体では前期比3.2%増
- ☞ 保守・点検等のアフタービジネスの拡大を促進

(単位:百万円)

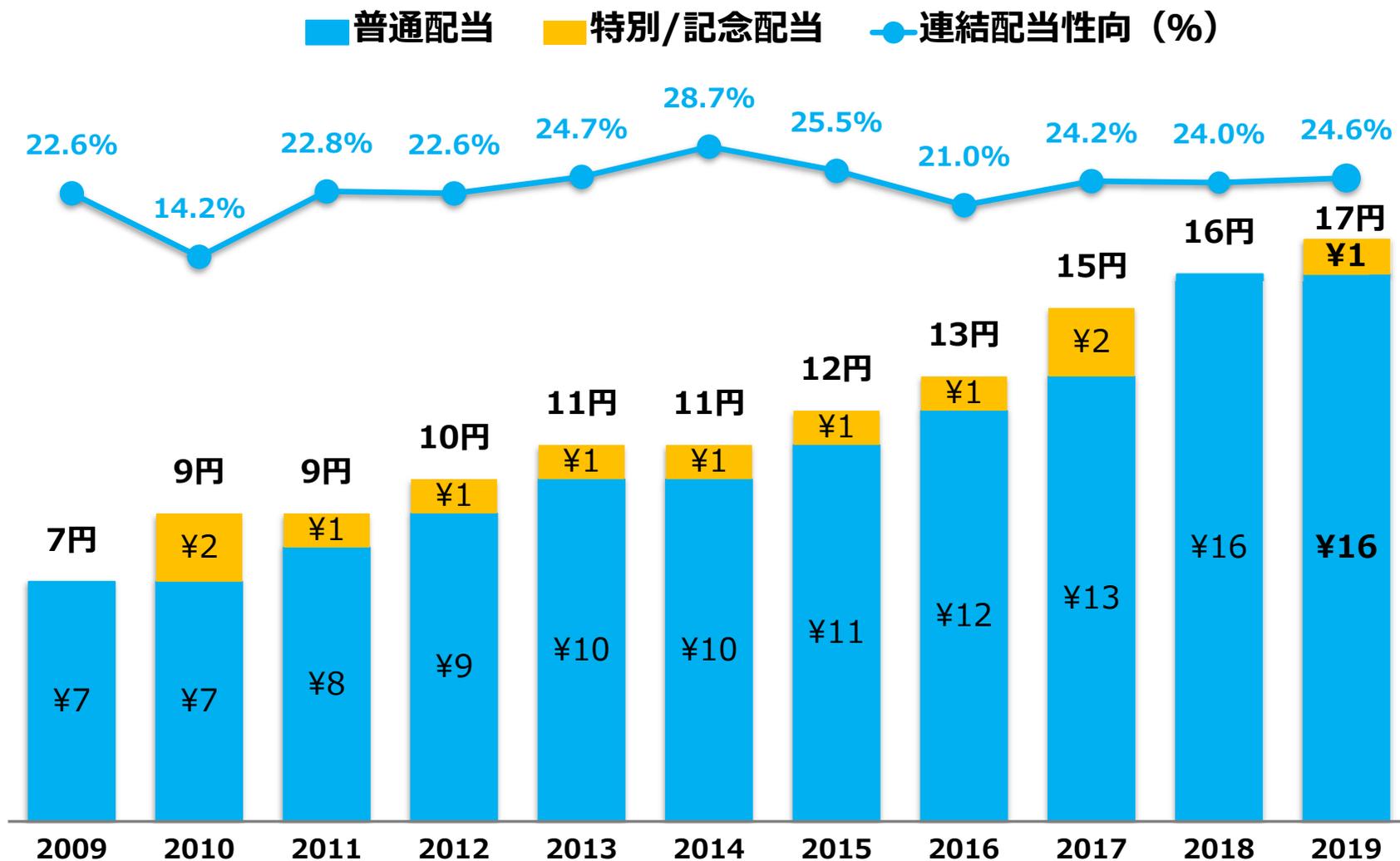
設備投資・減価償却費



研究開発費



1株当たり配当金推移



成果

- 国内営業活動強化により国内売上最高
- 大気測定器更新の入札案件の戦略的獲得
(PM2.5測定装置 国内シェアNO.1)
- アフタービジネスの売上増
- 中国での現地生産開始
- 台湾・インドでの拡販

継続テーマ

- ▲ 中国VOC測定装置の国家認証試験
- ▲ アジア市場の深耕

1. 会社概要

2. 2019年度実績

3. 2020年度の取り組み

注記がない限り、本資料に記載された財務数値及び業績予想は、原則として連結ベースで記載しております。本資料の金額は単位未満切捨で表示しております。これにより、合計が合わない場合があります。比率は小数点第1位未満四捨五入で表示しております。

事業環境

- ⊖ 新型コロナウイルスの世界的影響
- ⊕ 環境規制強化による旺盛な需要

合併20周年 = 新生TD2020

世界に選ばれる製品
を生み出していく
企業へ変革



お客さま



水道・電力・医療などのライフラインに関わる施設への製品・サービスの安定供給

営業活動

WEB会議などのIT活用



従業員

- ・在宅勤務、時差出勤
- ・健康管理の徹底
- ・職場の衛生管理
- ・出張や会議の制限など



更なる国内シェア拡大で
安定的な収益基盤を確立



海外売上全体の底上げ



現地生産（中国）



技術指導（インド）

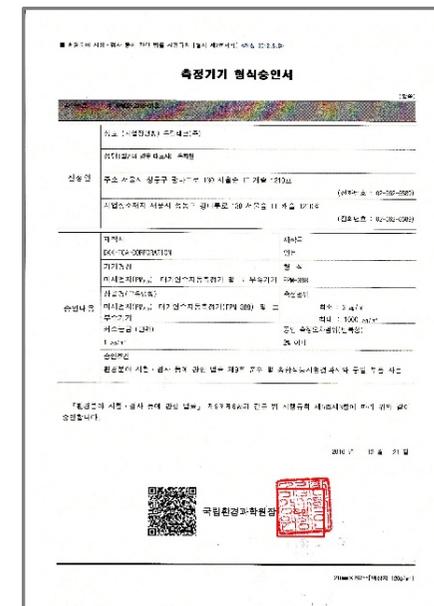
PM2.5測定装置



国内シェアNo.1



- ・ 韓国対応モデルで国家認証取得
- ・ 韓国の地下鉄駅9か所に採用



認証書

2019年4月1日付
東亜DKKアナリティカを
吸収合併

特殊分析計のシステム
設計・製造部門



2020年4月1日付
アリス東亜DKKを
吸収合併

医療関連機器の製造、
標準液・試薬の生産



透析用薬剤溶解装置



標準液

開発



生産



品質保証



一体的な
事業運営を推進

地球環境保全と人にやさしい社会環境の実現に貢献



環境



主要3事業場の電力を
100%再生可能エネルギー由来に切り替え



オリジナルエコ
バッグの配布
(プラスチック製品の削減)

健康
経営



健康優良企業

健康優良企業
「銀の認定」を取得

社会
貢献



アジア大気汚染研究
センター(ACAP)

海外技術研修生の
受け入れ

地域
貢献

消毒・除菌に優れた効果を発揮する 当社製の次亜塩素酸ナトリウム活性水を寄付しました



埼玉県狭山市
小学校15校等



日本点字図書館
(高田馬場)



山形県新庄市



岩手県遠野市



神奈川県鎌倉市



神奈川県逗子市



当社が販売する
次亜塩素酸
ナトリウム
活性化装置

ご清聴ありがとうございました。

1. 本資料は当社をご理解いただくために作成したものであり、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。
2. 本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
3. 将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上でご利用ください。
4. 業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成しておりますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。
5. 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、皆様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

＜お問い合わせ＞
東亜ディーケーケー株式会社
経営戦略部
メール：ir@toadkk.co.jp